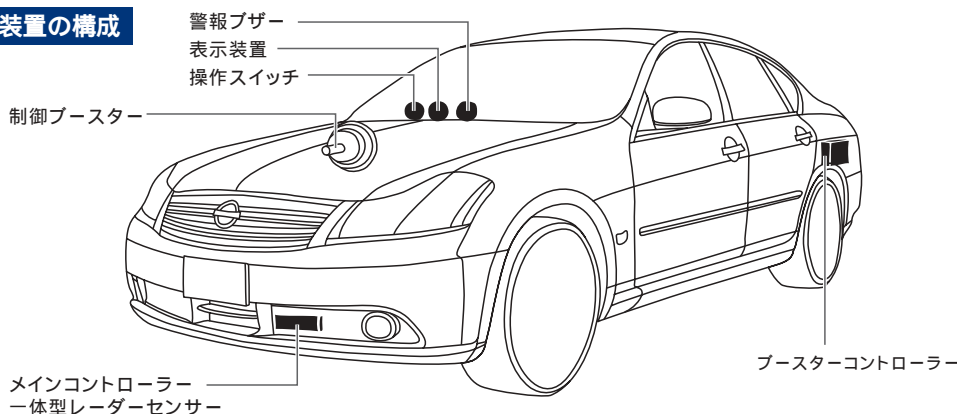


インテリジェントクルーズコントロール (低速追従機能付)

インテリジェントクルーズコントロール*に、低速追従機能を新たに追加しました。約40km/h以下の低速走行時においても、自車線前方の車両に対して車速に応じた車間距離を保って走行することができます。

*従来の「車間自動制御システム」、約40～100km/h（セット可能車速）

装置の構成



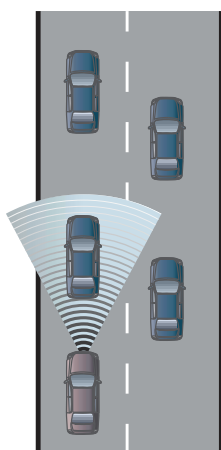
ステアリングスイッチ

(インテリジェントクルーズコントロール用)



低速追従機能の追加により、高速域だけでなく、渋滞時のような低速走行時においてもドライバーの運転負荷を軽減します。

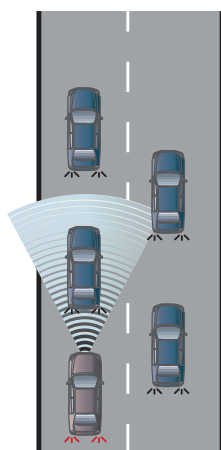
「インテリジェントクルーズコントロール」
「低速追従機能」の切り替えを自動的に行うことができ、利便性をさらに高めています。



自車線前方を走行する車両をセンサーが検知している場合

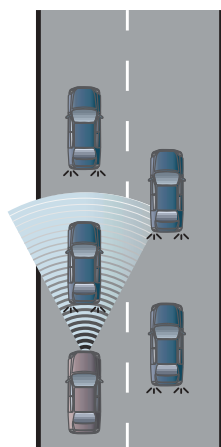
車速約10～40km/hで走行中にドライバーがセットスイッチを押すと、車速約40km/hを上限に、車速に応じた車間距離を保って走行します。

(自車線前方の走行車両を検出しなくなった場合は、作動を解除します。)



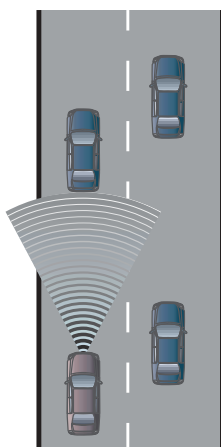
「インテリジェントクルーズコントロール」から「低速追従機能」への切り替え

「インテリジェントクルーズコントロール」で追従走行中、前方走行車両の減速により、車速が約35km/hを下回ると、「低速追従機能」へ自動的に切り替わります。



自車線前方の走行車両が減速した場合

自車は、減速するとともに、ドライバーのブレーキ操作が必要な場合には、表示およびブザーでお知らせします。また、車速約5km/h以下になると作動を解除し、表示とブザーでお知らせします。



「低速追従機能」から「インテリジェントクルーズコントロール」への切り替え

「インテリジェントクルーズコントロール」の設定車速が設定されているとき、「低速追従機能」で追従走行中、前方走行車両の加速により車速が約40km/hになると、「インテリジェントクルーズコントロール」へ自動的に切り替わります。

各図は代表的な走行シーンです。